

# 平成 22 年度 事業報告書

平成 23 年 5 月 27 日

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

本学院は、「和の精神」を真髓となし、東西両医学を有機的に関連づけて、社会及び国民の医療に貢献できる真の医療人を育成することを建学の精神として、「人と人との和・人と自然との調和・東洋と西洋の融和」を掲げこれを成し遂げていく。

### (2) 学校法人の沿革

大正	14年	4月	山崎直文氏により大阪アベノ橋に明治鍼灸学校を創立
昭和	5年	4月	大阪府知事の認可を受け大阪市天王寺区に明治鍼灸学校を開設
	26年	3月	終戦後 明治鍼灸学校廃校
	34年	4月	吹田市に明治鍼灸柔道整復専門学校を再建
	41年	10月	準学校法人明治学院設立により寄附行為認可を受ける。
	42年	6月	明治学院を明治東洋医学院と改称
	51年	4月	専修学校医療専門課程の設置認可を受ける。
	53年	2月	準学校法人を学校法人に変更認可を受ける。(文部大臣)
	53年	4月	明治鍼灸短期大学を開学
	58年	4月	明治鍼灸大学を開学
	62年	8月	明治鍼灸大学附属病院を開院
	62年	12月	明治鍼灸短期大学を廃校
平成	3年	4月	明治鍼灸大学大学院鍼灸学研究科(博士前期課程)開設
	4年	4月	明治鍼灸柔道整復専門学校を明治東洋医学院専門学校に改称
	5年	4月	明治東洋医学院専門学校 あ・は・き教員養成科併設
	6年	4月	明治鍼灸大学大学院鍼灸学研究科(博士後期課程)開設
	14年	4月	明治鍼灸大学医療技術短期大学部 開設
	16年	4月	明治鍼灸大学保健医療学部 開設
	18年	4月	明治鍼灸大学看護学部 開設
	20年	4月	明治鍼灸大学を明治国際医療大学に改称
	21年	8月	明治鍼灸大学医療技術短期大学部廃止認可
	22年	10月	明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻(通信教育課程)修士課程設置認可
	23年	4月	明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻 修士課程 開設
	23年	4月	明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻(通信教育課程)修士課程開設

### (3) 設置する学校・学部・学科等

学校名	開設年度	学部・学科・課程等	摘要
明治国際医療大学 (旧名称:明治鍼灸大学)	平成3年度	大学院鍼灸学研究科(博士前期課程)	
	平成6年度	大学院鍼灸学研究科(博士後期課程)	
	平成23年度	大学院鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻 修士課程	
	平成23年度	大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻(通信教育課程)修士課程	
	昭和58年度	鍼灸学部 鍼灸学科	
	平成16年度	保健医療学部 柔道整復学科	
	平成18年度	看護学部 看護学科	
明治東洋医学院 専門学校	昭和34年度	医療専門課程 鍼灸学科・柔整学科	
	平成5年度	医療専門課程 教員養成学科	

### (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(平成23年5月1日現在)

(単位:人)

				入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
明治国際医療 大学	大学院 鍼灸学 研究科	鍼灸学 専攻	修士課程	8	16	27	
			修士課程 (通信)	16	32	26	
			博士課程	4	12	7	
		臨床鍼灸学専攻 修士課程		8	16	6	
	鍼灸学部		100	400	235		
	保健医療学部		60	244	143	編入生16人含む	
看護学部		60	260	267	編入生7人含む		

学校名		入学定員数		収容定員数		現員数		摘要
		昼間部	夜間部	昼間部	夜間部	昼間部	夜間部	
明治東 洋医学 院専門 学校	鍼灸学科	120	60	360	180	240	96	
	柔整学科	60	60	180	180	156	99	
	教員養成学科	25		50		21		

## (5) 役員概要

(平成23年5月1日現在)  
定員数 理事 11名、監事 2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理 事 長	中 川 雅 夫	常 勤	平成12年 5月理事就任 平成22年 5月理事長就任 (明治国際医療大学学長)
常務理事	谷 口 和 彦	常 勤	平成18年 6月理事就任 平成22年 6月常務理事就任 (明治東洋医学院専門学校長)
理 事	明 石 貴 英	非常勤	平成 2年 5月理事就任
理 事	鷹 峰 道 雄	非常勤	平成18年 4月理事就任
理 事	畑 中 忍	常 勤	平成22年 6月理事就任
常務理事	矢 野 忠	常 勤	平成22年 6月理事就任 平成22年 6月常務理事就任
常務理事	吉 田 和 夫	常 勤	平成22年 9月理事就任 平成22年 9月常務理事就任
理 事	今 西 二 郎	常 勤	平成22年 6月理事就任
理 事	小 原 圭 三	非常勤	昭和53年 4月理事就任
理 事	佐々木稔納	非常勤	平成20年12月理事就任
常務理事	嶺 尾 徹	常 勤	平成19年 4月理事就任 平成19年 4月常務理事就任
監 事	島 村 修	非常勤	平成18年 6月監事就任
監 事	西 育 良	非常勤	平成23年 4月監事就任

## (6) 評議員の概要

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

定員数 25 名

氏 名	在任年月	主な現職等
田中忠蔵	7 年	明治国際医療大学 教授 明治国際医療大学 保健医療学部長
中川雅夫	1 か月	学校法人 明治東洋医学院 理事長 明治国際医療大学 学長
畑中 忍	11 か月	学校法人 明治東洋医学院 財務部管財課長
藤井義巳	11 か月	明治東洋医学院専門学校 学校事務部長
矢野 忠	17 年	明治国際医療大学 教授 明治国際医療大学 鍼灸学部長
山田皓子	11 か月	明治国際医療大学 教授 明治国際医療大学 看護学部長
山村義治	5 年 1 か月	明治国際医療大学 教授 明治国際医療大学附属病院 副病院長
浅田 忠	4 年 11 か月	象山院鍼灸院
安藤文紀	18 年 7 か月	明治東洋医学院専門学校 教員 明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長
小西幹夫	17 年	小西鍼灸接骨院
角谷英治	11 か月	明治国際医療大学 教授
鷹峰道雄	21 年	曹洞宗 泉谷寺 住職
鑪野佳充	13 年	明治東洋医学院専門学校 教員 明治東洋医学院専門学校 柔整学科長
谷口剛志	4 年 11 か月	明治東洋医学院専門学校 教員 明治東洋医学院専門学校 教学部長
西田章通	17 年	西田鍼灸院 院長
福井淳子	11 か月	福井整骨鍼灸院
松岡憲二	14 年 1 か月	明治東洋医学院専門学校 教員 明治東洋医学院専門学校 図書室長
山崎立実	13 年	明治国際医療大学 教授
山本 淳	11 か月	山本鍼灸整骨院
吉井栄人	13 年	吉井鍼灸整骨院
明石貴英	4 年 11 か月	明石鍼灸院
市川 哲	11 か月	明治国際医療大学 教授 明治国際医療大学 教学部長
田中 博	8 年 11 か月	田中鍼灸治療所
谷口和彦	21 年	明治東洋医学院専門学校 校長 明治国際医療大学 教授
吉田和夫	5 か月	学校法人 明治東洋医学院 本部事務局長

## (7) 教職員の概要

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

(単位:人)

区 分		本部	明治国際医療大学	明治東洋医学院専門学校	計
教員	本務		137	32	169
	兼務		134	35	169
職員	本務	9	140	18	167
	兼務	2	25	2	29

## (8) その他

学術交流協定校の状況

明治国際医療大学は、『京都府立医科大学』及び『ポルトガル共和国”The College of Acupuncture and Moxibustion of A.P.A.E. for Medical Doctors Only”』と学術交流に関する包括協定の締結を行っている。

## 2. 事業の概要

大学・学校の教育機関を取り巻く環境は、18 歳人口の減少と過剰な新增設に伴う大学間競争により、志願者減少の厳しい状況が続く中、本学院では、学院の経営改善、教職員の意識改善、管理運営・組織全般の見直し及び中長期計画の策定等を柱とする事業運営方針を策定し、このことを基本に学院・大学・学校の全般的な運営改善に対する取組みを推進し、諸改革・改善を進めている。

(1) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

### 【本 部】

① 日本私立学校振興・共済事業団の経営相談、経営改善計画作成に向けた取り組み

法人運営の安定性・継続性の確保のため、日本私立学校振興・共済事業団に経営相談を行っており、次年度に引き継いでいる。

② 経営諮問会議の設置

学院の経営改善に向けて、学外の有識者の意見を経営に反映させることを目的に、理事長の諮問機関として経営諮問会議を設置した。

### 【大 学】

① 通信制大学院の開設等

大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻(通信教育課程)の開設について、文部科学省から平成 22 年 10 月に通信教育の開設と寄附行為変更認可を受けた。

【 名称:「鍼灸学研究科 鍼灸学専攻(通信教育課程) 修士課程」、入学定員:16 名 】

また、大学院の教育課程の変更併せて臨床鍼灸学専攻の設置について、平成 22 年 5 月に届出を行った。

【 名称:「鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻 修士課程」、入学定員:8名 】

② カリキュラムの改編・授業時間数のスリム化に向けた取り組み

看護学部では、保健師助産師看護師法の改正に伴い、平成 24 年度入学生からのカリキュラム改正を進めており、平成 23 年度に教育課程の変更手続きと併せて助産師国家試験受験資格取得コースの指定申請を行うこととしている。

③ eラーニングシステムを用いた教育・学生支援の充実

平成 20 年度から構築しているeラーニングシステムを用い、一部の科目において eラーニングでの授業を行い、また、保健医療学部および鍼灸学部においては国家試験対策に対応した eラーニングを用いたコンテンツを作成し、自学自習に利活用している。

④ 新入生に対する学納金減額等の取り組み

大学、学生やその父兄を取巻く厳しい社会経済状況に鑑み、本学の鍼灸学部・保健医療学部の学納金を大幅に減額(昨年度比 25%減)し、また学納金を減免する入試制度を取り入れ、新入生等学生の学納金の減額を図り、また、在学生については、奨学金の拡充を行い、大学として新入生や在学生の学生生活の充実に向け努力を図っている。

⑤ 大学公式ホームページの刷新

学外向けホームページをリニューアルし、特に 18 歳志願者層に向けての訴求力の向上を図った。

⑥ JR桂川駅・阪急桂駅～大学間の直通バスの運行

学生の通学の利便性を図るため、JR桂川駅・阪急桂駅から大学までの直通バスを運行している。また、学生の利用状況とその効果の検証を進めている。

⑦ 大学における主な公開講座等と地域貢献の取り組みについて

大学では、「京<sup>みやこ</sup>カレッジ市民教養講座」(京都市内)(年 3 日間、1日に午前・午後の 2 回実施)、「看護学部特別講演会」(京都市内)、鍼灸学部市民公開講座(年 4 回)(東京都、京都市他)、看護職者のためのリカレント教育(年 1 回 2 日間)や「附属統合医療センター市民公開健康講座」(京都市西京区)(年 3 回)を実施し、公開講座や地域貢献に努めている。

【診療部門】

① 附属統合医療センターの開設

平成 22 年 11 月に京都エミナース内に於いて「附属統合医療センター」の「開所式、記念講演会・記念見学会・祝賀会」を開催し、「洛西クリニック」(一般診療、漢方外来、ストレスドック等)及び「洛西鍼灸柔道整復治療所」(はり治療・きゅう治療、指圧・マッサージ、メディカル・アロマセラピー)を開設した。

② 附属病院の京都府広域地域医療連携事業における取り組み

京都府医師会が主導する京都府広域地域医療連携事業における脳卒中・大腿骨骨折連携パス

事業に登録し、京都府下全域における連携に向けた取り組みを行った。

【学 校】

① 自己点検・自己評価

学生への授業評価アンケート及び意識調査アンケートを実施し、各科目担当者にフィードバックを実施し、学生の視点にたった授業の実施に向け、教育方法等の改善に努めた。

② 成績不良者に対するサポート体制の充実

3年生の国家試験対策授業である医学演習の認定試験の成績不良者に対し、少人数制の個別指導を行うとともに、eラーニングシステムを利用した学習支援を実施した。

③ 学校における市民公開講座の実施

専門学校の治療所が主となり、鍼灸及び柔道整復の啓発活動として、6月から12月にかけて毎月1回の市民公開講座を実施している。

(2) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

(平成23年3月31日現在)

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額
京都府南丹市 〔明治国際医療 大学キャンパス〕	校地	178,155 m <sup>2</sup>	1,373,920 千円	1,373,920 千円
	校舎 8 棟	17,868 m <sup>2</sup>	3,224,189 千円	2,155,548 千円
	附属病院	11,066 m <sup>2</sup>	3,077,616 千円	1,188,011 千円
	その他 附属施設	8,886 m <sup>2</sup>	2,892,961 千円	1,655,975 千円
大阪府吹田市 〔明治東洋医学院 専門学校 キャンパス〕	校地	9,545 m <sup>2</sup>	1,878,157 千円	1,878,157 千円
	校舎	6,534 m <sup>2</sup>	2,300,671 千円	1,089,248 千円
	その他 附属施設	3,003 m <sup>2</sup>	456,577 千円	344,287 千円

### 3. 財務の概要

#### ①資金収支計算書

##### 収入の部

(単位 千円)

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
学生生徒等納付金収入	2,382,462	2,615,427	△232,965
手数料収入	19,704	17,955	1,748
寄付金収入	12,200	7,350	4,850
補助金収入	262,283	345,179	△82,895
資産運用収入	40,268	50,770	△10,502
資産売却収入	1,052,400	550	1,051,850
事業収入	63,799	87,410	△23,610
医療収入	1,809,248	1,834,479	△25,230
雑収入	202,001	116,050	85,951
借入金等収入	1,250,000	0	1,250,000
前受金収入	598,184	640,859	△42,674
その他の収入	486,396	436,023	50,373
資金収入調整勘定	△1,040,857	△1,234,782	193,925
前年度繰越支払資金	4,603,747	5,135,303	△531,555
収入の部合計	11,741,839	10,052,576	1,689,263

##### 支出の部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
人件費支出	2,866,212	2,768,637	97,574
教育研究経費支出	1,511,942	1,569,601	△57,659
管理経費支出	266,909	267,646	△736
借入金等利息支出	10,127	13,918	△3,790
借入金等返済支出	467,000	210,000	257,000
施設関係支出	1,678,869	348,943	1,329,926
設備関係支出	101,942	149,642	△47,699
資産運用支出	907,440	24,000	883,440
その他の支出	359,510	373,961	△14,451
資金支出調整勘定	△263,255	△277,522	14,266
次年度繰越支払資金	3,835,141	4,603,747	△768,606
支出の部合計	11,741,839	10,052,576	1,689,263

(注)金額は千円未満を切り捨てしているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。

なお、以下の表についても同様である。



② 消費収支計算書

消費収入の部

(単位 千円)

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
学生生徒等納付金	2,382,462	2,615,427	△232,965
手数料	19,704	17,955	1,748
寄付金	14,572	14,419	152
補助金	262,283	345,179	△82,895
資産運用収入	40,268	50,770	△10,502
資産売却差額	5,060	549	4,510
事業収入	63,799	87,611	△23,811
医療収入	1,809,248	1,834,479	△25,230
雑収入	202,001	116,050	85,951
帰属収入合計	4,799,402	5,082,443	△283,041
基本金組入額合計	△230,258	△461,942	231,684
消費収入の部合計	4,569,144	4,620,501	△51,356

消費支出の部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
人件費	2,811,100	2,784,423	26,676
教育研究経費	1,968,615	2,030,568	△61,952
管理経費	302,378	304,576	△2,197
借入金等利息	10,127	13,918	△3,790
資産処分差額	6,601	14,088	△7,486
徴収不能引当金繰入額	1,002	1,035	△32
消費支出の部合計	5,099,826	5,148,610	△48,783
当年度消費支出超過額	530,682	528,109	2,573
前年度繰越消費支出超過額	3,435,998	2,907,888	528,109
翌年度繰越消費支出超過額	3,966,681	3,435,998	530,682

③ 貸借対照表

資 産 の 部

(単位 千円)

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
固 定 資 産	14,695,163	13,789,959	905,204
流 動 資 産	5,040,220	6,568,589	△1,528,368
資 産 の 部 合 計	19,735,383	20,358,548	△623,164

負 債 の 部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
固 定 負 債	1,653,070	1,555,915	97,154
流 動 負 債	985,532	1,405,427	△419,895
負 債 の 部 合 計	2,638,603	2,961,343	△322,740

基 本 金 の 部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
第 1 号 基 本 金	20,686,461	20,456,203	230,258
第 4 号 基 本 金	377,000	377,000	0
基 本 金 の 部 合 計	21,063,461	20,833,203	230,258

消費収支差額の部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,966,681	3,435,998	530,682
消費収支差額の部合計	△3,966,681	△3,435,998	△530,682

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	平成22年度	平成21年度	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	19,735,383	20,358,548	△623,164